

3月3日（火）少し年季の入ったお内裏様とお雛様が第136回「ほほえみ交流カフェ」に集合しました。

シニア	17名	
講師	6名	
葛が谷 C/P	1名	
葛が谷薬局	2名	
スタッフ	9名	計35名



葛が谷薬局さんからはインターンさんも参加です



本日は「認知症を知ろう」と銘打って。新しい治療薬に焦点を当てたお話です。お内裏様、お雛様も「すまし顔」で気取っている場合ではない関心の高いテーマです。スタッフ挨拶もそこそこに、横浜新都市脳神経外科病院の認知症看護認定看護師、水口晶子さんの講演です。

まずは、デイサービスでの認知症患者さんと介護者、夫々の視点から観た少々刺激の強い動画です。

トイレに案内された患者さんが便器に溜まった水で顔を洗い始めます。介護者は驚いて止めます。介護者としては、不衛生なことをしている患者さんを便器から引き離さねばなりません。一方で患者は洗顔中に邪魔が入ったと思います。患者本人がやっていることは本人なりに意味があり、快感を感じているわけで、それを途中で止められると不快感が生じます。大事なことはたとえ奇異なことでも否定しないことを心がけること。

認知症に関する一般的な知識のおさらいの後、いよいよ核心の“新しい治療薬”の話が始まります。従来認知症患者に処方されていた薬は“神経の働きを助け、今出ている症状を少し楽にしてくれるもので、認知症の原因物質を除去するもの



ではありません。 対して今回日本でも承認された“新しい治療薬” はアルツハイマー型認知症の原因物質である脳内タンパク質“アミロイドβ”を除去する働きがあります。

レカネバブは“比較的小さな段階”の原因物質を、そしてドナネバブは固まった塊になった原因物質も除去する働きがあります。この二つの治療薬は認知症の5割以上を占める“アルツハイマー型”認知症に対応するもので、他のタイプの認知症には使用できません。また、症状も軽度認知機能障害（MCI）から軽度認知症に限定されています。

つまりこの“新しい治療薬”を使用するには

- ・できる限り早く
- ・どのタイプの認知症か

を確定する専門医師の判断が必須ということです。

そこで今まで以上に重要になるのは“早期発見” 家族や周辺の親しい人の気付き



- ・物忘れがひどい
- ・判断力／理解力の衰え
- ・場所／時間がわからない
- ・人柄が変わる
- ・不安感が強い

・意欲がなくなる などの兆候があれば、まずは無料の横浜市物忘れ検診の受診を本人に勧めましょう。65歳以上は年に1回受診がお勧めですが、ここで障害になるのは本人の受診拒否。

- ・病院に行く理由がわからない
- ・“認知症”と診断されるのが怖い
- ・プライドや尊厳を傷つける相手には従いたくない。

ポイントは

- ・本人が受け入れやすいように配慮
- ・本人の状態や気持ちを理解
- ・できる限り嘘をつかない
- ・家族以外の他者から話してもらう

“もの忘れ検診”で認知症が疑われた場合は、専門医療機関が紹介されます。

- ・採血
- ・神経心理検査
- ・MRI検査
- ・SPECT（血流）検査

で原因物質“アミロイド”の存在を確認したら

- ・アミロイドPET
- ・髄液検査で新薬が適応となるか最終検査を行います。

二つの新薬の処方ですが、

- ・レカネバブ：2週間に1回点滴投与で18か月。症状進行がなければ継続可能
- ・ドナネバブ：月に1回点滴投与で18か月（12か月でアミロイド消失が確認できれば終了）

最後にレカネバブを例にとり治療費用のお話です。

実施前検査	保険適用	3割負担の場合	104,580円
		自費	副作用検査 5,700円
治療	保険適用	70,000円～100,000円/月	× 18か月

多額の費用が必要となりますが、高額医療費制度が適用されます。

最新の情報にふれ、大いに勉強になりました。水口さんを始め、横浜新都市脳神経外科病院の皆様、ご多忙のところお出でいただき有難うございました。



今月の誕生日はお一人、本日のお楽しみコーナーで踊りを披露いただく飯塚さん。「三味線」の練習を始められたそうで、向上心、意欲満々のシニアです。

さあ、お楽しみコーナーです。佐藤さん母娘の三味線と唄が飯塚さんの踊りとのコラボで始まります。「花笠音頭」「ダンチョネ節」「炭坑節」「秋田おはら節」「外山節」「相馬二遍返し」いつもお母様の若い歌声に驚かされますが、



本日はそこに艶やかな飯塚さんの踊りが
加わり、いつも以上に会場も盛り上がり、

「炭坑節では踊りの輪ができました。 皆さん大満
足のひと時でした。

歌川さんの体操コーナーは、
肩周り、肩甲骨の動きをスムーズに
大きく動かすことを心がけました。
有難うございました。



また、葛が谷ケアプラザの原看護師から、最近都筑区でシニアを標的にした
詐欺電話の話を頻繁に耳にすると注意喚起がありました。

最後はいつもの様に「ふれあい丘の街」の合唱でお開きです。
次回は4月7日、恒例のお花見を予定しています。